

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
公益社団法人 福岡県人権研究所
“りべらしおん” No. 13 (2022/9/14)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

I 報告

『全国水平社・全九州水平社設立百周年講座～部落解放運動100年のはじまり』が、9月11日(日)、嘉麻市碓井住民センター大ホールで開催されました。提起1は「改善運動から水平運動へ」会員の首藤卓茂さん、提起2は「花山清手紙関連」研究所理事関儀久さんが、報告しました。100名を超える参加者でした。いただいた感想の一部を紹介します。

【感想から】

- ・自分が所属する地でこの講座が開催されたことは、大変意義あると感じています。そして、地元の嘉穂郡や碓井の水平運動についても知ることができ、大変貴重な機会となりました。学べば学ぶほど、自分の無知を知ります。今回の講座を生かしていきたいと思います。
- ・筑豊の改善運動に多くの方が関わっていたことがわかった。来年全九州水平社創立100年の節目を迎える。若い世代に伝える機会が必要なのではないか。
- ・田中松月さんが全国水平社に九州で唯一の参加者ということは知っていたが、どのような方がたくさん知れて良かった。はじめて聞く名前も多く、勉強のたりなさを感じました。
- ・差別はする側の問題であるが、差別をなくしていく為には、関係ないということではなく、運動されている方々を知ることでも差別をなくしていく行動の一つになったと思います。筑豊でも活動していた方々が、こんなにいるとは知りませんでした。

II 会員からの投稿

先日の土曜日、福岡市あいれふで福岡市人権啓発センター主催の人権講演、作家の寮さんの講演を聞きに行きました。途中参加でしたが、なっちゃんの花園、また、奈良少年刑務所での読み聞かせの話、アイヌの人々に対する差別の話やアルコール使用障がい(アルコール依存症)や薬物依存症などについて語られました。福岡県で人権問題として語られることは多くなく、講演は参加した方々の心に響くものがあったと思うので良かったと思います。終了後、寮さんにサインしていただいていた時、林力先生の話を読んだら、福岡商業高校高校生の時、林力先生が担任だったと言う女性が話しかけられびっくりしました。林力先生は、私が勤めている夜間定時制高校の兵庫県立湊川高校で落第生教室を実践した福地幸造先生とたいへん仲が良く、福地先生の落第生教室の実践のような取組を林力先生が福岡商業高校で行われました。声をかけていただいた女性は林力先生が福岡商業高校で「やんちゃくれ」だけを集めて卒業させたクラスにいた生徒だったそうです。

(兵庫県立湊川高校 箕田哲久)

会員のみなさんの投稿お待ちしております。

III お知らせコーナー

(1) 2022年度「啓発担当者のための人権講座」(要申込)

日時：2022年10月3日(月)12:30(受付)13:00~16:30

会場：福岡市中央市民センターホール(会場開催と同時にライブ配信も行います)

内容：①講演 「ネット人権侵害と部落差別の現実」
講師 川口泰司さん(一般社団法人山口県人権啓発センター事務局長)
②報告 福岡県人権・同和対策局
「(仮)インターネット・モニタリングの実施状況について」

(2) 第2回部落問題部会研修会

日時：2022年12月3日(土)午後から

場所：田川市 *会場、内容検討中

<*各部会・講座の開催等の詳細については、ホームページをご覧ください。>

ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

email info@f-jinken.com (登録解除はこちらへ)

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！ー学校文化史のおきみやげー』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とはー』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

ニュース担当：峰

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>